

令和８年度第２回茅ヶ崎市景観まちづくり審議会会議録

報告	(１) 茅ヶ崎市景観条例の一部改正について
議題	(１) 茅ヶ崎市景観計画の総括評価について その他
日時	令和８年７月３１日（金）１３時３０分～１４時５０分
場所	茅ヶ崎市役所分庁舎５階 Ｄ会議室
出席者氏名	(委 員) 高橋委員、清水委員、三友委員、田邊委員、神保委員 (欠席委員) 上野委員、荒井委員 (事務局) 【都市部】深瀬部長 【景観みどり課】高山課長、須賀主幹、二階堂副主査、鶴岡主事、大友主事
会議資料	次第 報告 資料１ 茅ヶ崎市景観条例の一部改正について 議題 資料２－１ 評価のスケジュールについて 資料２－２ 茅ヶ崎市景観計画総括評価（案）に対する意見記入シート 資料２－３ 茅ヶ崎市景観計画期末報告書 資料２－４ 審議会質疑応答表 資料２－５ 茅ヶ崎市景観アンケート【訂正】 資料２－６ アンケート用用語の解説
会議の公開・非公開	公開
非公開の理由	
傍聴者数 (公開した場合のみ)	０名

(会議の概要)

1. 開会

事務局から、会議の開会にあたり以下のとおり報告があった。

- ・所属委員の過半数の出席を充足しているため、茅ヶ崎市景観まちづくり審議会規則第6条第2項に基づき、本会議は成立していること。
- ・本会議の内容は公開となり、会議録作成及び公表のため会議内容を記録していること。

2. 報告

(1) 茅ヶ崎市景観条例の一部改正について

【事務局からの説明】

事務局から、茅ヶ崎市景観条例の一部改正について報告した。

3. 議題

(1) 茅ヶ崎市景観計画の総括評価について

【事務局からの説明】

事務局から、茅ヶ崎市景観計画の総括評価について説明し、委員による意見及び質疑応答が行われた。

○委員 △事務局

【意見・質疑応答】

- 「茅ヶ崎市景観計画総括評価報告書」について、どのように開示及び活かしていくのか。淡々と事業の進捗をまとめていく形にするのか、市民の方々が市の取り組みに対し評価・意見をできるような形にするのか、活用方法を伺いたい。
- △ 最終的にこの報告書はホームページでの公表を予定している。また、次回審議会の際に委員の意見と事務局の評価の内容を確認し、報告書後半にまとめページとして次期計画改定に活かしていける内容で作成していく予定である。
- 「茅ヶ崎市景観計画総括評価報告書」は、最終的に市民に対して公開していく形にな

と思われるがその際、市民が興味を示し、わかりやすい形式となることが望ましい。その参考として、鎌倉市で毎年行っている景観計画の実績報告では、資料前段に見開き2ページ程で取り組んできたことをわかりやすく整理して開示している。茅ヶ崎市の特徴的な取り組みとしては定点観測だと思うが、この調査結果について経年でとらえてきた変化の中で実現できたこと、逆に景観が損なわれてしまっている部分などの評価を書き込んでみると、関心を引き込みやすいのではないかな。

- 報告書自体は前回よりさらに整理の進んでいる部分もあると感じている。景観の業務としては、ハード面の整備だけでなく他課の計画による影響があるため、難しいところもあると思われる。そういった意味では成果の上がった部分を報告書の中にわかりやすく表現していくことは賛成である。

- △ トピックを前方にまとめてわかりやすくするというのはとても良い方法と感じたので、参考にする。

景観ポイントの定点観測とは別に、景観の変化の比較という項目があるので、そこでどのように比較するか検討中である。景観ポイントの比較だけでなくこれまでご審議いただいた内容や景観の比較も含め評価していけたらと思っている。

- 報告書は景観まちづくりのメディアであるので、報告内容が厚いのであれば、要所要所に一目で、わかりやすく、その部分を切り取ってよそに話ができるトピックを配置するなどして、市民の関心を引き込めると良い。そこから詳細に書いてある部分にうまく誘導していける構成だとなお良いと思う。

- まず、「茅ヶ崎らしさ」の調査についてだが、今回のアンケートにも取り入れられているが、この結果をもとにまた新しく改訂したものを載せていくのだろうか。

次に、この「茅ヶ崎らしさ」の調査についてアンケートの回答は回答者の主観的なものになる。誰にでもわかりやすい客観的な視点も、茅ヶ崎らしさの評価軸の一つとして取り入れてみたらどうだろうか。

また、景観ポイントを更に魅力的に見える視点を見直していくということには賛成だ。さらに景観ポイントの趣旨自体も考え直していく必要があるのかもしれない。現在の景観ポイントは「見どころ」に注目したものが多いが、実際に市民の生活の空間では「見どころ」ばかりではない。航空写真を使ったような視点になった場合、例えば緑が減っているとか、そういった市民にとって身近な部分が見えるようになり、努力して景観を守っている部分に関しても理解を得る要素の一つとなるのではないかな。

- 調査の取扱い方について、市民の主観をアンケートでとってその結果を発表して終わるだけでなく、例えば対比して客観的な航空写真のような情報も並べて見て、結果をさらに読み込んでいけるような活かし方も良いのではないかと。

次に、景観ポイントに関しては、単純に綺麗な景観という視点で見ていくだけではなく、そこに関わる方々が景観を身近なものにするための日常的な工夫や努力などの情報を重ねて、見た人がさらに踏み込めて気づきを生みだせるような、そういった景観ポイントの伝え方はできないか。

- △ まず、茅ヶ崎らしさに関して、今回のアンケート結果の使い方にあたってはこれまでの計画、施策について改めて検証したうえでさらなる発展のためにどのように使っていくか模索中である。

- △ 身近な緑についてだが、景観ポイントについては、現在広報シティプロモーション課の方で写真を募集しているのと同時に、事務局の中でも抽出しているところではある。ただ、それだとやはり見栄えのいい景観が集まってきがちなので、自分たちでも他のポイントを探しているところでもあるが、今後は市民にとっての身近な緑ということも意識しつつ選択していこうと思う。

- △ 茅ヶ崎らしさを客観的に捉えるという点については、例えば近隣市との比較、物理的に公共施設の位置や人流の部分を国の調査等に基づいて分析していくようなことが何かできないか検討する。

景観ポイントについては、広報シティプロモーション課と一緒に「ちがすき」という写真の募集をしている。その結果についても今後示していきたい。

- △ 「人とまちの距離がちょうどいい」というところが茅ヶ崎らしさということで、10年前に定めているところであり、そこから過ごし方調査が始まっている。のんびり過ごせたり、居心地よく過ごせる場所について、景観まちづくり審議会の場でご協議いただいている部分でもある。その点で、そういった場所が何個できたのか、というところは定量的に数字で表せると思う。あとは住宅関係の特徴についてどんな特徴なのかということも、見えてくるものがあると思っている。

- △ 客観的ということでは、都心からも近いこの小さな町の中に、自然もありおしゃれなお店やゆったり過ごせるお店などが徒歩や自転車で気軽に出かけられるような距離に点在するということで、どれくらいの距離で点在しているのか、という視点で調査

してみても面白いと思う。

- 客観的と言いながら、これがいいという確実な意見を持っているわけではないが、この時間を通し、今までのものを活かしたり、過ごし方調査などの具体的な活動を行っているところから抽出する等、色々な視点があるというのが分かり、今後さらに発展していけると感じた。茅ヶ崎らしさをどのように表現するのか興味があるところだったので、今後一緒に色々な視点から考えていければと思った。
- 茅ヶ崎市では海も里山もある中でゆっくり過ごしている人がいて、それらがすべて茅ヶ崎らしくて素晴らしいと思っている。過ごし方調査を通して把握している茅ヶ崎らしく過ごしている人も含めて景観であることが、茅ヶ崎市景観計画の特徴的なところである。そのまちらしく過ごしているというのは、他のまちではあまり見られない。引き続き茅ヶ崎らしい過ごし方や暮らし方を含めて景観であるということを次期景観計画でも重要視して欲しい。
写真募集については、近場で行きやすいからそこで過ごしているという写真も集まると思うが、アンケートの意見も踏まえて、うまく整理して次期景観計画に盛り込むと、より一層茅ヶ崎らしさが出てくると思う。
そのまちのらしさが、10年でなくなってしまうようなまちもある中で茅ヶ崎はきちんと維持されている。茅ヶ崎らしい景観の保全と茅ヶ崎らしさの維持は繋がっている考える。茅ヶ崎らしく過ごすには、茅ヶ崎らしい景観の保全が必要なため、茅ヶ崎らしさを高めることだけに捉われず、維持するという視点も重要である。茅ヶ崎らしさを今後の10年も引き続き守ってほしい。
- アンケート結果は、住み始めた人と長く住んでいる人ではこのようなギャップが見えたというような、属性情報で読み込むことも大事になる。「人とまちの距離感がちょうどいい」という茅ヶ崎らしさを念頭に置きつつ、「景観とひと」、「景観とくらし」、「景観とあきない」といったテーマを、固いレポートではなく、コラム的な語り口で実験的に掘り下げてみると良い。そこでこれはいいと手ごたえを得た内容はこれからの景観計画に入れていく。茅ヶ崎市の景観計画を進化させるための戦略を踏まえた報告書という位置づけで臨んでみてもいいと思う。
- △ アンケートからは、意外と市民からの関心の高さがうかがえる。今回いただいた語り口の進化などをきっかけにして市民にとって身近な景観計画を考えていきたいと思う。

この後、資料に関して委員からの指摘と、それについて事務局から説明があった。

4. その他

【事務局より今後の審議会予定の説明】

・次回令和8年度第3回の審議会は12月中～下旬頃を予定。議題は茅ヶ崎市景観計画の総括評価の続きである。

その他、改めて意見記入シートをお願いをした。